



JR久留米駅駅ビルの松カーテンウォール

同駅は九州新幹線の一に建て直されたもので、昨年、鉄筋コンクリート3階建て(3階に新幹線、地上階に在来線ホーム)として生まれ変わった。正面がアーチ型をした橋上駅舎で、全体的にレンガ風

JR久留米駅(福岡県久留米市)に併設されている駅ビル「フレストくるめ」の外装に、松によるカーテンウォールが採用された。納材したのは九州木材工業(福岡県筑後市、角博社長)。地元・筑後川流域産の松を使い、AAC保存処理を行ったものだ。

筑後川流域産材をAAC保存処理

駅ビルに松カーテンウォール

九州木材工業

のデザインを採用。ステンドグラスによる装飾、床タイルは久留米紘(かすり)をモチーフにし、改札口ごとに様々なデザインが採用されて話題を集めた。また、外部との仕切りなどにも木柵が使われている。

一方、先行した駅舎に続けて建設が進められていた小規模駅ビル施設「フレストくるめ」も、今年に入っ

完成・開業に至り、外装の松カーテンウォールも先ごろ、市民や観光客などの前に姿を現した。外観は特徴的なデザインの新駅舎にも引けをとらない。また、同施設内の久留米ラーメン店をはじめとした飲食店街には、入り口、通路部分に木材が使われている。